Library News 京教図書館ニュース
2013年7月号 No.154

『仕事に必要な言葉 ： 一瞬で自分を勇気づける ： これから生き抜くために』島田精一著
かんき出版, 2009年
ISBN:9784761266479
購入手続き中

私のすすめるこの1冊

日向野 隆司（理事･事務局長）

『一瞬で自分を勇気づける仕事に必要な言葉：これから生き抜くために』

島田精一著

この本の「はじめ」で著者は、２０代の時から現在まで、例えばメキシコでの投獄で心が折れそうになったとき、新規事業が大赤字となりノイローゼになりかかったときに、友人の手紙にあった言葉やワイフの何気ない一言に救われた。思い返すと、いつも私のそばには自分を支えてくれる、弱い自分を救ってくれる言葉があったと。

そして著者がそのことに気づいてから、人から教えてもらった言葉や自分の経験の中から生み出された言葉、本を読んで身につけた教訓など気に入った言葉を口癖のように唱えていたもの、また、講演会などで若いビジネスパーソンへのメッセージとして発信しているものをより実践的に使えるようにまとめなおしたものがこの本です。

この本は仕事をしている人に限らず、例えばホンダの創業者本田宗一郎氏の「チャレンジして失敗することを恐れるより、何もしないことを恐れる。」との言葉や高杉晋作の「おもしろきこともなき世におもしろく」（世の中はおもしろくないことばかりだが、それをおもしろくするのは自分しだい。）の句、吉川英治の座右の銘「朝のこない夜はない。」など数々の著名人のスピーチや著者の経験から培った言葉を用いて、勉学に勤しむ学生の皆さんや研究に立ち向かう先生方など、どんな逆境で心が挫けそうなときでも、希望を持ってチャレンジする気持ちを持ち続けることが大切であること。

また、成功確率５０％の仕事を前にして、「なんとかなる」と楽観的に考える人と、「きっとうまくいかない」と悲観的に考える人とどちらが成長するかとの問いを混ぜながら、常に明るさを失わず、何事かをなす楽観主義者になろうとのメッセージ。

「いつやるの？今でしょ！」の塾講師の言葉が流行っていますが、決めたことを確実に実行するために心がけてほしい言葉として、日本電産の永守重信社長の言葉「すぐやる、必ずやる、出来るまでやる」、特に「すぐやる」ことが大事であること。

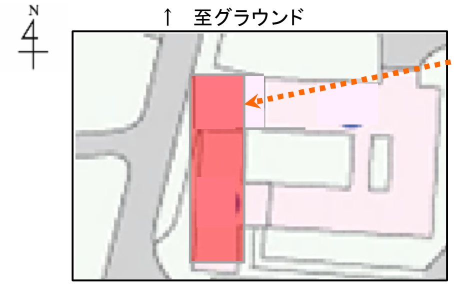
さらに「人間の感情はすべて、本の中に描かれている。それらを追体験することで、人間形成が加速される。」という言葉を通して、自分の専門ではない本でも自分を磨くという大きな観点に立てば小説や伝記、評論などを読むことも大切であることなどが綴られております。

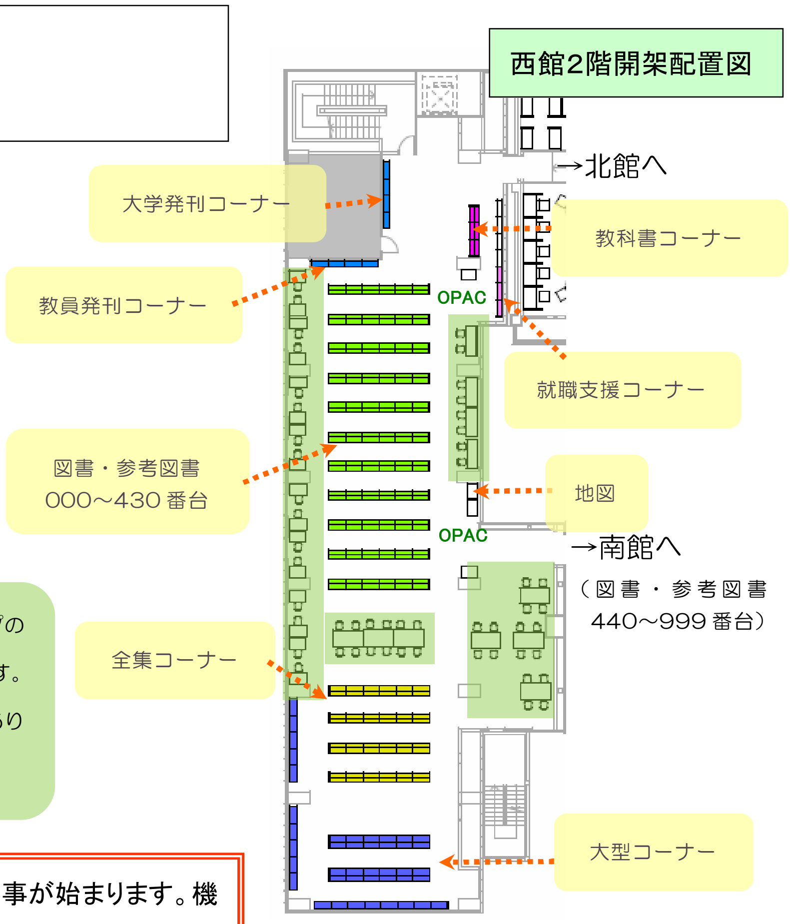
この本の構成は「逆境で心が挫けそうなときに響く言葉」、「20代、30代で覚えておきたい言葉」、「自分を成長させたいときに効く言葉」など６つのカテゴリーに分けられているため、非常に読みやすく、今の自分の状況に当てはまる言葉がきっと見つかると思います。

少しでもポジティブな気持ちに変えてくれるこの本をぜひ多くの方に読んでいただければと思います。

図書館が新しくなりました!! ～西館編～

西館（学生課の上の建物）は４階建てですが、７月より３・４階に電動集密書架を立てる工事を行うため、現在は２階までの利用となっています。今回は、その西館についてご紹介します。



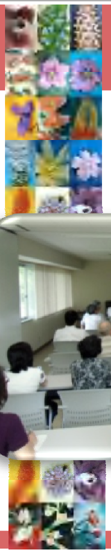


教科書や、教員採用試験の問題集(就職支援コーナー)、教育学の図書(分類番号 370 番台)など、教育実習や就職対策に必要な資料が１フロアに集まって、とても便利に！

閲覧席は、集中して勉強しやすい個別タイプの席や、眺めの良い窓際席など 72 席あります。また、ちょっと腰掛けられるいすも各所にありますので、気分に合わせてどうぞ。

注意！ ７月１日(月)より、西館 3･4 階の工事が始まります。機材の搬入作業や騒音などで、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

イベント報告



写真展小さな花と実　土倉亮一（本学名誉教授）

講演会の様子

平成 25 年 5 月 20 日(月)から 6 月 14 日(金)にかけて､｢写真展 小さな花と実：土倉亮一（本学名誉教授）」を開催しました。期間中は約 250 名以上の方々にお越しいただき、6 月 6 日（木）の講演会も約 40 名の方々が出席され予定時間をオーバーしての盛り上がりでした。

今回の展覧会で、今まで気付かずにいた「小さな花と実」の、美しい色彩と造形の世界に感動された方もたくさんいらっしゃったのではないでしょうか。

秋に第二弾を予定していますので、今回見逃された方はぜひお越しください！

なお、今回の展示にあたっては、本学名誉教授の土倉亮一先生に多大なるご協力をいただきました。厚くお礼申し上げます。

平成 24 年度利用統計

1. 入館人数

	学部生	院生	教職員	学外者	合計
総人数	32,481 人	7,233 人	1,706 人	2,026 人	43,446 人
分室					296 人
H23 年度	50,405 人	9,784 人	2,101 人	2,399 人	64,689 人

2. 貸出統計貸出人員

	学部生	院生	教職員	学外者	その他	合計
貸出冊数	11,985 冊	6,356 冊	2,498 冊	640 冊	110 冊	21,479 冊
貸出人数	7,131 人	3,026 人	946 人	357 人	86 人	11,460 人
H23 年度(冊数)	13,320 冊	6317 冊	2719 冊	672 冊	32 冊	23,060 冊

3. 文献複写　相互貸借

	文献複写				相互貸借	
	依頼		受付		依頼	受付
国内	734件	4,708枚	331件	2,656枚	89冊	55冊
国外	0件	0枚	5件	60枚		
H23年度(国内)	617件	3,642枚	766件	5,410枚	33冊	208冊

平成 24 年度は増改修工事のため休館日や利用できない資料が多く、平成 23 年度と比べて入館人数や文献複写・相互貸借等に大きな変動が見られました。平成 25 年度中には西館の工事も終わり書庫の資料も使えるようになりますので、ぜひたくさんご利用ください！

図書館のトピックス

図書館リクエストウィークを開催中！(学内者のみ申込可能)

平成 25 年 6 月 24 日(月)～7 月 5 日(金)の間、冊数・内容・金額等にかかわらずどんな本でもリクエストすることができます。ぜひこの機会にお申し込みください♪

※リクエストされたすべての本を購入できるわけではありません。

聞蔵 IIビジュアル(朝日新聞記事検索)のアクセス数が 50 台分追加！(学内 LAN でのみ利用可能)

平成 25 年 7 月 8 日(月)～12 日(金)、16 日(火)、17 日(水)の土日祝日を除く 7 日間、聞蔵 II ビジュアルの同時アクセス数が通常 1 台分のところを 51 台分に拡大されます。調べ物などにぜひご利用ください。

上記に関する詳しい情報は、図書館ホームページや掲示物等でご確認ください。

論のくちび理のむすび

京都教育大学紀要（大学発行の学術雑誌）に掲載された論文を、執筆した先生本人にご紹介いただくコーナーです。

今回の執筆者　村上　登司文（教育学科　教授）

広島学習を行う平和教育の評価
—附属桃山小学校の2011年度調査を事例として—

村上登司文

京都教育大学紀要.　2013, No.122, pp.55-71.

「あなたは広島に行ったことがありますか。」

平和学習として、広島や長崎に修学旅行で児童・生徒を連れて行く学校が関西にたくさんあります。附属桃山小学校 6 年生が 2011 年 8 月に修学旅行で広島に行きました。

戦後 65 年以上が経過して、被爆の状況について見聞することが少なくなりました。それを補う意味で、学校による被爆体験の継承が不可欠です。どの様な学習効果があるかを実証的に探るために、附属桃小の児童が修学旅行に行く前と後の 2 回に渡って意識調査をしました。

調査によれば、広島学習の効果として、原爆投下を「人道上許せない」と怒る児童は、事後調査で 11 ポイント増えて 74%になりました。被爆状況に対して「人ごととは思えない怒りを感じる」児童は、事後調査で大きく 23 ポイント増えて 73%になりました。このように広島学習によって、原爆投下に対する人道主義的反対と、被爆者の苦しみへの共感的理解が、強くなっています。

また、事後調査では、広島学習の後に 9 割の児童が、家庭において原爆被爆について話しています。広島学習の中に児童が誰かに語りたい大切なもの（例えば戦争の怖さや平和の尊さ）が含まれていました。そして、被爆体験を伝えることが大切と思う児童は、事後調査では大きく 20 ポイント増えて 86%になりました。

今回の研究では、広島学習をした児童において、①被爆者を人道的・共感的に理解しようとし、②原爆被爆を人々に伝える気持ちが増し、③身近な場面で平和をつくろうとする気持ちを促す、などをデータで示しました。読者の中に、子どもたちを広島に連れて行きたいな、と思っている方がおられましたら、その理由付けの一つとしてこの論文を利用して下さい。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 122 号に掲載されています。
※京都教育大学リポジトリ「クエリ（KUERe）の森」http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/　にも公開されています。

●京都教育大学附属図書館ホームページ　http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/

●携帯版図書館ホームページ　http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm　QR コード→

開館日程　□9:00−21:00　■9:00−17:00　■休館(CLOSED)

2013年7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

7/29−8/2 前期末試験

2013年8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8/3−9/30 夏季休業
8/14−8/16 夏季一斉休業

京教図書館 NewsNo.154(2013 年 7 月号)
発行日：平成 25 年 7 月 1 日
編集発行：京都教育大学附属図書館
問い合わせ先：library@kyokyo-u.ac.jp

京都教育大学